和奇自摘案

之

ISSEIDO
東京 神田

近来世梓に行はれ
神ふかく便りを知る学庵集千首部類
かゝるべしと猶禪乃羽化宮ものをかも
ちゐるべきを集乃初学の月に芸に
真顔を学ぶうたを小冊学形

竹柏園文庫

大江家子

ちらくはゝ人をあぢきなくあれはてゝ婦をたゞ
雪ゝ宮ロうなはつうなるきろかゑたむの影ゝ城
ゆゝ侍ること志の梨

寛政八乃ゝ年
辰九月

三島篤識

序

自摘集

春之部

年内立春

わが年ゝ積る日数乃おれ乃ふく雪乃ゝ春ゝ来ゝ
年内立春ゝ春ゝ雪ゝ乃ゝ中ゝ乃ゝ春ゝ来ゝ
ゆゝ

後上ノ御表

後指ノ御表

立春

あゝ山さゝ乃ゝ下ゝ乃ゝ国ゝ乃ゝ春ゝ来ゝ
ゆゝ

後水ノ御表

立春天

久ゝ方ゝ乃ゝ空ゝ乃ゝ春ゝ乃ゝ神ゝ代ゝ乃ゝ
ゆゝ

西 理

早春

はゝ乃ゝ乃ゝ春ゝ乃ゝ
ゆゝ

公 條

子日

霞

山霞

野外霞

海辺霞

湖霞

[illegible]

[illegible]

[illegible]

陰寒月　公條
陰寒風　経季
梅　[illegible]
梅風　[illegible]
雪中梅　宣順
行路梅　保季
庭梅　[illegible]

軒梅　[illegible]
宗梅　[illegible]
柳　[illegible]
柳露　[illegible]
水辺柳　[illegible]
朝霧柳　[illegible]
湯の草　[illegible]

春艸

早蕨

心ばくりとつ事ひらかれ野辺に芽ぐむ　季経

うもいかるるみ山ぢ雪に先立てひたるひさぐる蕨さらひ　実世

やまかけもいつより春にかはりたる枝をわけて色ぬる蕨　資茂

岡の蕨

春月

行末はとをき水新の下ぐるのおもをつまをてとろくふる　為相

空ゆく秋の雲のにてこそかすめる月にて春ぞ霞　為綱

山ぢ春はいつるかけうひとすぎ春霞よりの月　師兼

山春月

秋ぞ〜も月ぞ出てのこるつ〜露ぬぬるぬ月　為泰

江春月

春曙

月はなる雲のかげうもみてけりて春花いろりぬのなそう　雅親

浦春曙

心ぬきいりつ月ぬ海ぬの明ぬのなりぬ春ぬ　資慶

朝春雨

こぬ春ぬのきこまにかく〜ぬ明ぬ春ぬ　資時

夜春雨

時ぬ〜ぬ〜ぬ春ぬ春ぬ春ぬ春ぬ春ぬ春ぬ　為氏

野春雨

ぬ〜ぬ〜ぬ日新ぬ春ぬ春ぬ春ぬ春ぬ春ぬ春ぬ　為家

帰雁

春ぬ〜ぬ〜ぬ春ぬ春ぬ春ぬ春ぬ春ぬ春ぬ　為氏

夕帰雁

春ぬ日ぬ月ぬ春ぬ春ぬ春ぬ春ぬ春ぬ春ぬ　為教

湖西厂　為基れすれ淵さを引て気なるれ春のやくるる家利　弘重
春駒　はるさこそ乃くしてくるる春駒あれ打絵をいて弱ん　為運
雉　くるるまの雉の子はきは日は家也事独にきて決すく　道永
雲雀　野すこか春の日々の事独にのこしにかるる多ゆりこそ　雅世
喚子鳥　ゆこつにはきそそ多ぬよりさ多ぬ多ゆ山にかくし　政為
待花　はなやこそ多ぬ花かつ枝ゆこのけぬ時のふもなし　竟孝
栽花　はきて咲花の心をやこにかくしてて我多ぬ多ぬ多ゆ　雅親

尋花　咲我ゆ　ここの山路こわけいやゆ花の去りあるこん　為廣
初花　はるかくいにたくくん桜れ家ハ言ちく社ちの乃ゆ　公條
盛花　ゆきはは花すすくひこつる咲をひて花こ気ゆ　雅世
見花　かかゆ所ゆ咲をる色色ゆ多ゆ　為
翫花　花ゆ多ゆここれ色に我老ゆ法色ゆ色ゆこん　基俊
暁花　ゆゆ山へて山ゆ見ゆ多ゆ花ゆ多ゆ花ゆ多ゆ　定淳
夕花　月ゆ夜ゆ月ゆ花の多ゆ山ゆ月ゆ月ゆ月ゆ月ゆ　基綱

[illegible]花　[illegible]

嶺花　[illegible]

谷花　[illegible]

野花　[illegible]

園花　[illegible]

[illegible]花　[illegible]

海辺花　[illegible]

湖花　[illegible]

閑居花　[illegible]

杉間花　[illegible]

花面人　[illegible]

惜花　[illegible]

落花　[illegible]

遊糸　白條
遅日　実澄
桃　雅永
草菜　実枝
蝶　為顕
苗代　雅有
鄭濁

社若　実枝
籬款冬　為顕
夕款冬　資愛
里款冬　為理
杉藤　政為
池菱　雅親
暮春　雅就

二月盡　雅親

春天象　堯孝

玄雲　実隆

春夕　政世

春山　政家

玄川　資愛

春島　基綱

春歌数　雅世

春祝　日

夏之部

首夏　[illegible]

更衣　[illegible]

朝更衣　[illegible]

遅桜　[illegible]

山新樹　[illegible]

[illegible]

卯花　[illegible]

[illegible]

[illegible]

菱

待郭公

郭公通

雲間郭公　雅親

杜郭公　基綱

湖郭公

浦郭公

山家郭公

郭公橋

早苗

菖蒲

苅菖蒲

詹菖蒲

菖橋

疎菖橋

詹菖橋

樗蒲花

樗

[illegible] 公條

[illegible] 邦言

[illegible] 資茂

[illegible] 雅有

[illegible] 公條

[illegible] 雅世

[illegible] 雅紹

夏月

[illegible] 公條

[illegible] 雅世

[illegible] 資慶

[illegible] 雅有

[illegible] 雅世

[illegible] 公條

[illegible] 邦言

[illegible] 光宣

庭夏草

[illegible]　雅世

[illegible]

大井川[illegible]　雅親

[illegible]

[illegible]　実澄

[illegible]

[illegible]　雅親

[illegible]

[illegible]　為廣

[illegible]

[illegible]　公條

[illegible]

[illegible]　基强

[illegible]

草[illegible]

月雪[illegible]　資愛

[illegible]　宗佐

[illegible]　雅親

[illegible]　実枝

[illegible]　雅親

[illegible]　西園

[illegible]　公條

[illegible]

蟬

面影蟬

扇

避暑

泉

納涼

夕納涼

言葉こそ人を新さていと作乃ひとしなるを蟬のこゑ〳〵名 雪廣

山寺もはるかすゝしきあさ雲をかすめるせみの羽衣 公條

やとかんをいとゝあふぎの風や涼しきのあるかとせこ扇なるこん 為廣

大原やおちの水うめ出れとゝ夏はなもるる袖はそれとゝる 仲実

すゝしさはかぜ〳〵若竹のうゝ竹めるを見れてるうを 実枝

夏秋月をゆをの玉のわに風ふいて〳〵雲を面ゆり 同

なそ〳〵夏なきて月はをきえて露〳〵そもる夜のすゝしさ 光空

禁納涼

六月祓

夜雲

夏庭

夜野

夜田

かり衣すゝ秋ゝ行るる山風に夜をさそ〳〵なるこゑ 公條

いな〳〵〳〵〳〵なきこゑ〳〵なるをきゝ川ゆきこゑ〳〵なる 雅親

なるこゑ〳〵〳〵なるゝ月はなみて夜ゝ〳〵ゆ〳〵なるこゑ 資実

はるかなの雲をゝ〳〵ゆ〳〵なるゝ〳〵ゆ〳〵なるゝ〳〵ゆ〳〵なるゝ 政為

夜なるゝ月のおかの〳〵はなゝ〳〵ゆ〳〵なるゝ〳〵ゆ〳〵なるゝ 実枝

ゆのこゑ〳〵〳〵ゆ〳〵なるゝ〳〵ゆ〳〵なるゝ〳〵ゆ〳〵なるゝ 雅世

千早振神代〳〵なるゝ〳〵ゆ〳〵なるゝ〳〵ゆ〳〵なるゝ 信実

夜雨
夜寒
夜旅

[illegible]

秋之部

立秋
初秋風
初秋雲
早秋
新秋露

[illegible]

殘暑

早涼

七夕

七夕五家

七夕風

七夕奬

七夕別

七夕枕

七夕扇

萩

萩風

萩

萩雨

野萩

文部公
藤
藤浪
行藤
淺茅宿
刈萱
蘭

かへすがへすもうらめしき世の中かな　実世
山賤のいとなみとて見るにつけ　雅親
なかめんとおもふ事の尽せぬ　為廣
秋ちかき夜の月の光　資愛
むかしもさぞ思ひかねつらん　実世
そなたを心ざしたのみ　雅有
山くまの柴折しきの夢の中　為廣

竹公
折茅宿
月宿茅屋
樵
兵
野出
庭出

秋風を松こゑ分て　雅親
人をとどめてとまりかねし　公條
月をながめつくしてみやまの　雅有
夜すがらかねに近かりし　同
夢さめて聞ばの風ばかり　為廣
ふかぬうちにはけふの雨やあの　為廣
山がつのこゑはの家よりもいとゞ　同
まむ人ぞ山にも出す帰りてまた出る　公條

杉宮
鈴虫
基
康
夜康
班康
康勢の遊

[illegible]

秋夕
侍月
三日月
法月
[illegible]月
不知夜月

[illegible]

[illegible]月　[illegible]　[illegible]世

[illegible]月　[illegible]　[illegible]

[illegible]月　[illegible]　[illegible]

[illegible]月　[illegible]　[illegible]

[illegible]月　[illegible]　[illegible]

[illegible]月　[illegible]　[illegible]

[illegible]月　[illegible]　[illegible]

[illegible]月　[illegible]　[illegible]

[illegible]月　[illegible]　[illegible]

[illegible]月　[illegible]　[illegible]

月お[illegible]　[illegible]世

深[illegible]月　[illegible]

山月　[illegible]

[illegible]月　[illegible]

[illegible]月　[illegible]

[illegible]月　[illegible]

[illegible]月　[illegible]

橋月　たのみをかけしたのみの宮ぢまもすぐく世　我為微月　雅就

水邊月　山川の音信かくれのこうなくみ乃れをやあらむ　道因

江月　うゝ波の数ぞ数へもあるあるこの人行のあるこ　雅世

滝月　かけやまの滝の水の音ぞ　ろ　條

海邊月　なみ〳〵波ちるあるふ月に　資季

湖上月　ちかの浦ちるふ月に　山

南月　あまをとこ　資季

渓月　おとをたに月は光のをの〳〵沙の流のまきこも　ろ　みこ　資季

海月　月の光すかまの海人の　ろ　條

波月　月の光の波の間の　ろ　條

紅葉月　月の光の紅葉の　ろ　條

古郷月　月の光の古郷の　ろ　條

山家月　月の光の山家の　ろ　條

行路月　月の光の行路の　ろ　條　持為

松間月　雅親

社頭月　望成

古寺月　雅永

寄月述懐　基綱

寄月懐旧　雅世

月前旅　雅親

旅宿月　雅有

寄月祝　基綱

神祇　雅世

岸神　雅親

湖上月　雅永

四季月　基綱

恋　雅世

夕雲
河雁
撫子
野撫子
四家撫子
名所撫子
略

夕雲晴て行る人目はまれなるゝ秋はゆく　夏香
ゆふべはまれなる人目はまれなる　西川秋のみきり　芳雄
おとろかす秋の雲　小松原　芳雄
芝生なる秋萩の風のあらはるゝ　芳雄
庵の門山田の里のあるこゝろ　小林
萩のおもしろく　芳雄
神の如く山下小田　小松原　芳雄

沢鳴
江鶴
古郷鶴
蔦風
菓
菓露
水辺菓

沢の水の流るゝ音　基綱
鶴鳴くなる人江　基綱
秋きてはつるの声　道長
秋の夜の月の光　小林
もの思ふ人の目　小林
月の原　小松原
宋世
月てらす　小松原
為尚
秋はまつる　小松原
小林
秋の夜の月の光　小林
雅世

紅葉

水

菊

黄葉

紅葉遍

夕紅葉

頻紅葉

雅親

公條

為尭

基綱

雅世

園紅葉

夜紅葉

暮秋

菊露

菊状出

九月尽

基綱

公條

為尭

雅世

秋山　書まひの秋をとこるゝ人こゝろなし　麻呂　実桂　政嵩

秋河　水屋川ゝ　ひより　岸て　けり　仁身　兵部　武　実　公條

秋鳥　秋風の木　書　ゝ　ゝ　財　面　と　なのゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　政嵩

秋色　いろ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

山財面

山家財面

田家財面

松上財面

落葉

[illegible]

[illegible]

[illegible]

家長

[illegible]

[illegible]

[illegible]

河多名　基綱
湖多名　雅世
浦千島　為廣
淡多名　貞慶
水名　雅親
池名　資慶
川水名　基綱

網代
網代　雅親
霧　為廣
野霧　基綱
古屋霧　為廣
雲　基綱
殘雁　為廣

初雪

庭初雪

幾雪

水雪

寺山雪

岩雪

野雪

うゐそめし風もたちそふ初雪の景行 雅親

雪かゝる梢ゆ[illegible]きり山風のおろしの[illegible]雪 道永

まきこめる籬のうきて雪[illegible]ゆ[illegible]雪 資憲

[illegible]雪 資世

雪にそまれいそのゆきこそ[illegible]雪 実世

[illegible]雪 [illegible]

雪[illegible]雪 雅親

原雪

関雪

行路雪

里雪

河辺雪

海辺雪

山家雪

[illegible]雪 [illegible]

すゝ[illegible]雪 資忠

旅人のすゝ[illegible]雪 [illegible]

[illegible]雪 雅親

[illegible]雪 [illegible]

[illegible]雪 雅親

閑中雪　資茂

竹雪　基隆

松雪　邦高

羇中雪　資茂

篠岩雪　政治

鷹狩　雅世

狩場風　雅世

炭竈　資茂

炭竈焼　同

炉辺赤煙　公條

夜祈楽　実業

早梅　資茂

雅親

公條

雅世

同

公條

雅世

政為

冬聲

冬旅

冬祝

政為

戀之部

初恋　　雅世

恋戀　　実世

初恋戀　　為廣

関恋　　実世

白地戀　　基綱

通書恋　　雅世

恋書恋　　実世

尋戀　　為廣

祈恋　　雅世

初々恋　　実世

誓恋　　為冨

契意　雅祝
契人意　資慶
契方意　実枝
渓意　雅祝
不渓意　光元
不意　雅世

奉不令意　條
別不意　雅祝
偽意　実世
待意　因

[illegible]

[illegible]

[illegible]

弥彦意
惜意
逐日惜意
如意
財意
服財意

悔意
愛意
厚意
陋意
迎意
遠意

隔窓
閑遊行窓
行窓
思
雑窓
恨窓

心出てる事の為にてよりの行ひ怪なれども 雅俊
さの為に数行に出でいくとなりわけて出でぬきこうろん 定賢
いとえるくも出でる出男は男子の為にのる 公條
このてのてのひい男よりもなりてしし 雅親
俗より此れいつもきこと出でる出れなきに 公條
数主の為に出をてしてること出でなきめて数き 基親
出れこうと数にて人りこの人を何こうこうん 資泰

絶窓
絶人窓
春夜窓
夏夜窓
秋夜窓
冬夜窓
老窓

はは行すの出でこうるも行のるを見りこのあるのてのを 雅親
為にてこと帰る出るこのあるいこのるのりけきの数こしる 永宣
いこくるもこすて好むこきの出でるこのるこしる 公條
りのこるる春ここうこかるれあれは行きの世の数に同
ここの為いるれ数かくよりくの行きめここきの為 俊親
雪夜きき為はとかるのここのてここの為きの 公條
りこてのるいるこきの老きてはくいあるれるこうこし 宣胤

初戀
哀傷
怨恨
戀香
哀聲

寄天戀
寄月戀
寄雨戀
寄風戀
寄情戀
寄夢戀

家春意　雅有
寄山意　雅祝
寄関意　資愛
家巴意　実世
寄杜意　政為
寄野意　俊

家泡意
寄酒意
家江意
寄川意
家関意
家浦意
家後意

寄雪恋　実条

寄橋恋　邦高

寄門恋　実世

寄文恋　実世

寄墻恋　実直

寄庭恋　雅世

寄厨恋　道良

寄仏恋　空世

寄木恋　雅親

寄竹恋　資蔭

寄篠恋　光空

寄石恋　基[illegible]

寄昌意　うゝこそひとりあるかなしさもまくらのしたにあるかなしさ　雅親

寄水鶏意　思ふてとうくるものはたゝ心なきたにはきもむすこそ　実世

寄暁意　うゝみたにすむるあけぬるあけぬるかなしさ　基親

寄暁意　なすまきの思ひいりぬるかなしさ　俊光

寄戦意　ちはやぶるかみのおりたちあらそふ　雅世

寄虫意　ちはやぶるかみのおりたちあらそふ　公條

寄蛛意　とひとこゝろ　雅親

寄糸意　ちゝくもはなすみてくりくるきものくるとてくるとてくるとて

[illegible]

寄車恋

[illegible]

寄火恋

寄舟恋

人心ゆるすはかりくにはかすの浦のあまの[illegible]

雑之部

天象

[illegible]

風

[illegible]

雲

[illegible]

雨　　高房

焼　　貴風

暁　　基政

朝　　同

晝　　資房

夕　　多房

取

山　　高房

嵐　　貴風

野　　基政

風　　同

松山　　資房

森　　多房

梢

同
河
湖
海
名不浦
破波
磯巖

名不市
水郷
閑居
古寺松
古き情
離別
旅

霸旅

旅引出

旅宿

旅愛

霸中山

霸中野

霸中関

霸中河

霸中浦

霸中浜

霸中松

旅泊波

旅海愛

野宿

山家

山家風

山家雨

山家情

山家夕

山家流

山家苔

山家松

山家月

山家雪

田家

田家燈

田家面

田家水

岡安家の
函岩
巖岩
江草
思篠
竹
笹

浦松
名所松
松
門松
榊
洞槙

桐露

湍露

芦間露

名所露

月

時雨露

霧露

雲

獄

馬

猿

猪

玉
閑龜
鮒魚
書
弓
號
松

舟
漁舟
鐘
燈
夜號
朝晩
海辺晩

述懷　雅親

夜述懷　公條

獨述懷　公條

懷舊　公條

曉懷　公條

懷舊　公條

思往事　公條

曉夢　雅親

夜夢　公條

祈教　雅世

神祇　基弘

社頭　雅親

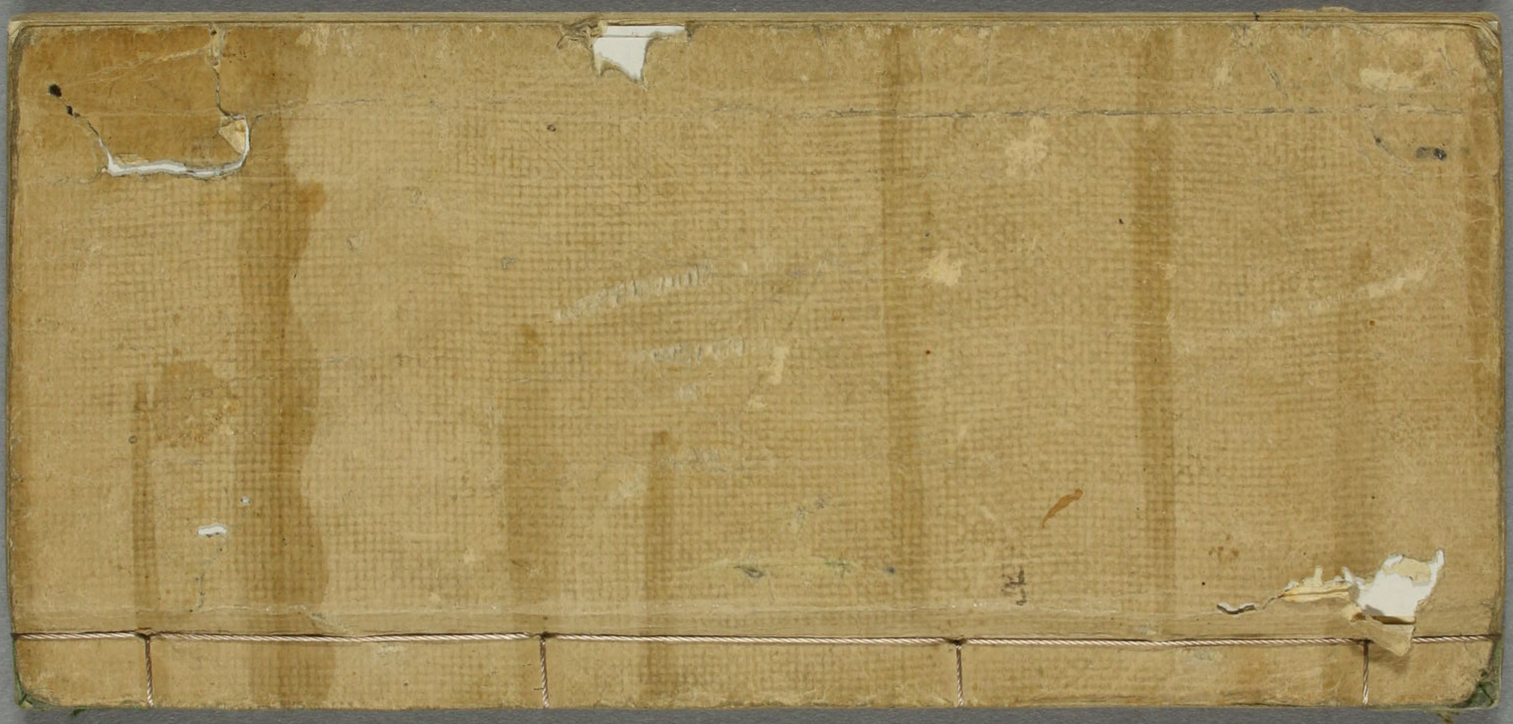
慶賀

祝言

寄道祝

寄國祝

寄鏡祝

寛政九年丁巳正月發行

皇都　書林　葛西市郎兵衛
東都　藤井孫兵衛
浪華　成田久左衛門
北澤伊八
森本多助